

第3分科会

環境教育プログラムを利用した 身近な自然体験

進行 ネイチャーおおさか

田中広樹

環境教育プログラム

- プロジェクト・ワイルドに代表されるようなパッケージ化されたプログラムの体系をイメージ
- 指導者養成講座による指導者資格の付与
- 室内での実習 + 野外実習を想定
- 一般的な自然観察会も

身近な自然体験

- 身のまわりの自然体験

ふれあい、観察、調査、保全作業、

- 人工的自然環境（公園、街路樹、田畑など）
人工的でない自然環境（森、里山、川、海など）

量の問題、質の問題、人材の問題、
安全管理、自然保護、

- 「食」に関する体験も、身近な自然体験

生物多様性戦略と大阪のまちの将来像

～生物多様性の恵みを感じるまち大阪2050へ

- セッション1 取り組み決め

議題提起

自己紹介

取り組み案共有

- セッション2 役割決め

取り組みの絞り込み

誰が何をするか具体決め